

## 編集後記

### ○ 定期総会の報告

去る平成 23 年 4 月 19 日（火）に熊山山頂の集会場に於いて、平成 23 年度の定期総会と講演会を開催いたしました。今回の総会で規約も制定し役員も選出いたしました。

会長＝若狭哲六 副会長＝延原勝志・丸谷憲二 会計＝井上秀男 監事＝片山伸栄

事務局長＝山崎泰二 事務局委員＝上記6名の他樋口俊介・本松一郎の 8 名

事務局委員は“きび”考編集委員を兼務 顧問については会長任命とする。

その後丸谷憲二氏が「大内神社（香登）の古代文字」の演題で、また山崎泰二が「考古フアンのじゃれごと 吉備から古代隣国（東アジア）を考える」と題して講演を行いました。昼食後は熊山遺跡研究家の岡野進氏による熊山境界の案内を予定していましたが、足元が悪く会場でお話を伺いました。岡野氏は熊山遺跡調査研究会の副会長でもあり今回の集会場の世話もなさっていて大変お世話になりました。ありがとうございました。

### ○ 若狭会長の出版記念祝賀会が本号で紹介しましたとおり、5 月 22 日に開催されました。当日の企画主催して頂いたのは、この会の顧問でもある岡山県華僑華人総会の劉会長で、また当会の名誉会長でもある大守隆氏が発起人代表として、公務多忙のなか駆けつけて頂きました。特に企画していただきました劉会長にはこの場をお借りして御礼申し上げます。出版された本をまだお読みでない方は直接先生に申し込んでください。

### ○ 秋には史跡探訪として笠岡市高島を予定しています。この島は若狭先生の思い出の地でもあり、今回丸谷氏が紹介した「神武天皇東征伝説」の土地でもあります。7 月中には下見調査を行い、企画しご案内をいたします。お楽しみにお待ちいただき振るってご参加のほどをお願いいたします。

### ○ 今回は矢吹壽年氏の登場です。縄文土器の学術論文は多く見かけますが、縄文土器の出現で食文化が向上し、縄文人の人口増加に繋がったとの視点は、流石だなと感心いたしました。余暇を利用して朝鮮半島の史跡を何度も探索なさり、中国・朝鮮半島の歴史にも造詣が深い方でもあります。大山火山噴火により蒜山湖が決壊し岡山平野を造ったとの熱い想いを語っておられます。これからの寄稿が楽しみです。

### ○ 大守隆氏の「王藤内と曾我物語」は如何でしたか。ご先祖謂れの紀行文的な文筆に、日頃世界を相手に活躍の大守さんを重ねると別の一面を見ることが出来ました。次稿を期待しています。

### ○ 掲載させて頂きました論文やエッセイについて会員・読者の皆様の感想なりご意見をお寄せください。以前掲載した分に対するご意見もかまいません。随時受け付けていますし必要に応じて、紙面に掲載させていただきます。古代史に関しては色々な角度での志向があり解釈によっては別の展開に発展します。それがまた面白いところかも知れません。筆者にしても反論や意見を頂戴して学ぶところも多いかと存じます。

### ○ 今回から仮称“きび考”の仮称をとり“きび考”といたしました。本年 4 月の総会での申し合わせによるものです。年 3 回の発行を予定しています。次回は秋の史跡探訪の特集を考えています。「磐座」や「神武東征の高島」にまつわる投稿・寄稿を特にお願います。シリーズものは当然引き続き掲載します。